

第46回

ICTワーク シヨツプ。

特別コラボ企画

つなぐWa Session
新都心イブニングサロン (第75回)

7/23 (木) 17:00~19:00

ハイフリット開催

(100周年記念ホールおよびオンライン同時配信)

要申込

詳しくはこちら



交流会(参加費1000円,ただし学生は無料)を実施します。
対面および交流会は先着50名様に限らせていただきます。(7/17締切)



国立大学法人
電気通信大学
The University of Electro-Communications

共同開催： 国立大学法人電気通信大学
一般社団法人首都圏産業活性化協会 (TAMA協会)
特定非営利活動法人新都心イノベーションパートナーズ
協力： 一般社団法人日本ベンチャー学会、埼玉県
企画： 産学官連携センター UECアライアンスセンター運営支援部門
一般社団法人首都圏産業活性化協会 (TAMA協会)

プログラム

(1) 開会挨拶 野長瀬 裕二

新都心イフニングサロン主宰、
一般社団法人首都圏産業活性化協会（TAMA協会）会長、
一般社団法人日本ベンチャー学会 制度委員会 委員長

(2) 最適化アルゴリズム開発による倉庫業務の効率化

羽方 将之 氏（株式会社B-STORM 代表取締役社長）

EC物流の普及により倉庫の業務が製品の保管から、ネット通販のフルフィルメント業務まで多様化し、業務のスピードアップが要求されてきました。B-STORMは倉庫内の作業時間(動線)を短縮する独自の最適化アルゴリズムを開発し、既存の中小倉庫から新規大型倉庫にも導入してきました。事例と今後の課題についてご案内いたします。

(3) 理工系が拓く生命科学の世界最先端技術

牧 昌次郎 教授（情報理工学研究科 基盤理工学専攻）

生命科学と言えば、医学薬学・農学がイメージされます。しかし、技術を創るのは理工系です。そうであれば、生命科学の先端技術を切り拓くのも理工系であるべきでしょう。当研の生体計測技術と抗難治性癌の創薬について紹介します。生命科学を支えるのは化合物であり、これを自在に合成することで拓かれる未来の一端をご紹介します。

(4) 人間性能（Human Performance）を可視化する時代へ

— 電気磁気治療器研究から認知パフォーマンス研究への展開 —

石渡 弘美 氏（株式会社ソーケンメディカル 代表取締役）

45年間取り組んできた家庭用電気磁気治療器の研究開発を起点に、近年は「認知・判断」を含めたHuman Performance（人間性能）の可視化と向上に取り組んでおります。本講演では、コンディショニング、認知トレーニング、データ解析、AIを融合した新たなスポーツ・健康研究の可能性についてご紹介します。

なお、本ワークショップに先立ち、第一部として15時より日本ベンチャー学会主催のJASVE制度委員会研究会がオンラインにて開催されます。詳しくは日本ベンチャー学会ホームページまたはTAMA協会ホームページ(<https://www.tamaweb.or.jp/>)を参照ください。